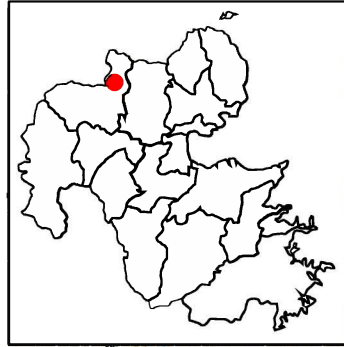


事前評価書

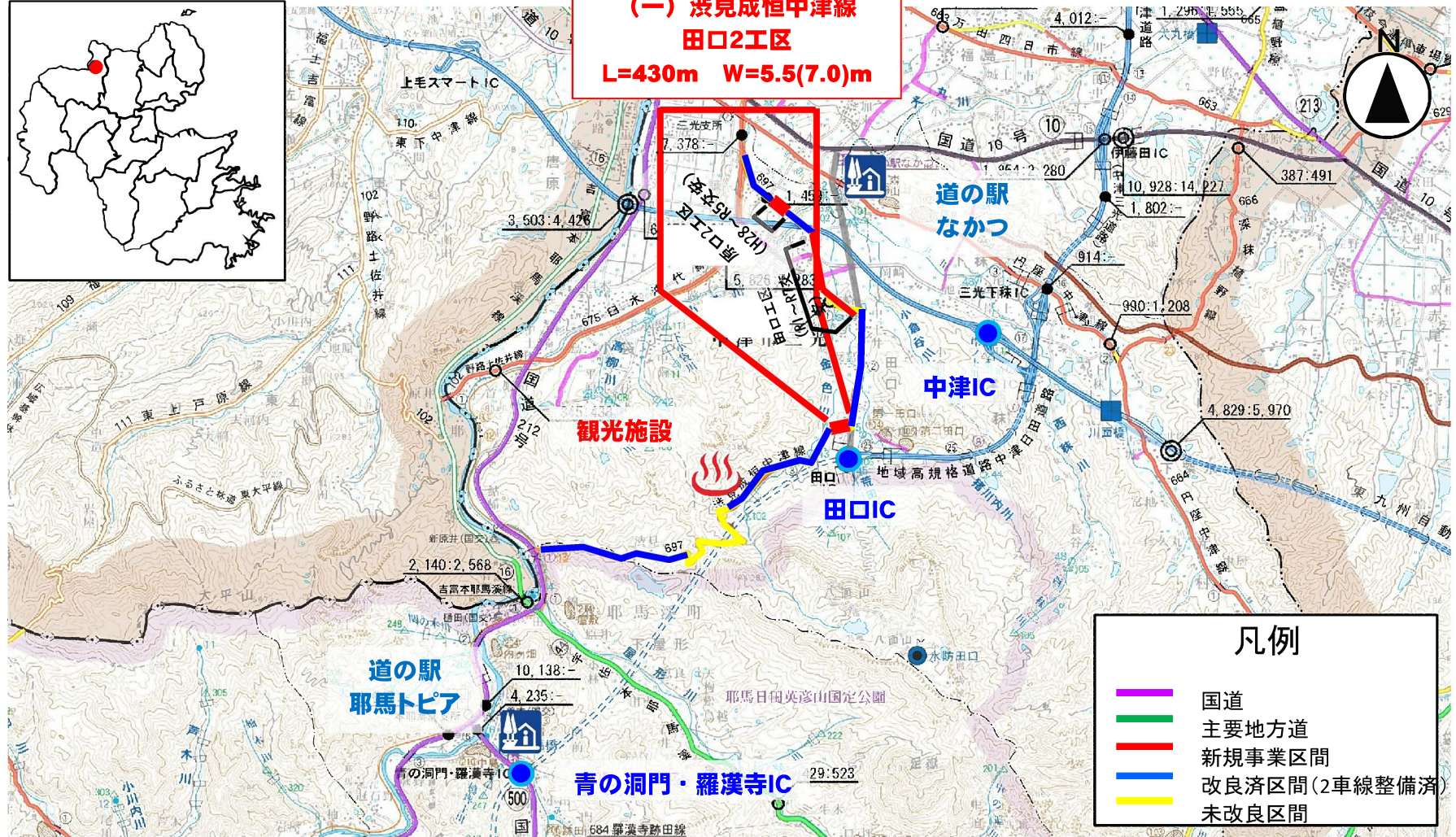
年度	R5
整理番号	

事業名・路線名等		道路改築事業 一般県道 <small>しぶみなりつねなかつせん たぐち こうく</small> 渋見成恒中津線 田口2工区	事業主体	大分県
所在地		<small>なかつしきんこうたぐち</small> 中津市三光田口		
事業概要	事業の目的	・線形不良、幅員狭小を解消し、走行性・安全性の向上を図り、温泉施設や八面山などの観光施設へのアクセス強化		
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=430m(BP)、W=5.5(7.0)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 1,040台/日(R22) 【現況幅員・交通量】 W=4.0m 交通量 1,069台/日(R3実測)		
	事業費	C=400百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から5年(令和9年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、道路詳細設計 2年目 用地測量 3年目 用地補償 4年目 道路工事 5年目 道路工事 完成予定		
事業の必要性	必要性・緊急性	・観光施設へのアクセスルートだが、幅員狭小、線形不良により観光バス等の通行車両の離合が困難なため、早急な改良が求められる。 ・上田口地区住民の生活道路でもあり、幅員狭小、線形不良により通行車両の走行性・安全性が低い ため、早急な改良が求められる。		
	整備効果	・通行車両の走行性、安全性の向上 ・観光施設へのアクセス強化		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・幅員狭小、線形不良を解消する一次改築であり、走行・安全性、観光振興の観点から評価【参考 B/C=0.4】		
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令等に適合した工法を採用 ・複数案の比較検討を行い、最も経済的なルートを選定		
	コスト縮減	・アスファルト、コンクリート・砕石は再生資材を利用する		
	環境等への配慮	・大分県自主的環境配慮指針に基づき計画		
事業実施環境	事業の実効性	・中津市から要望書が提出されている ・事前説明会を実施し、地元、関係地権者の協力体制も整っている		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」において、地域ネットワークの整備として推進が位置づけられている。		
	事業の特殊性	・特殊な工法は採用しておらず、また施工条件等に特殊な制約もない。		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図



(一) 波見成恒中津線
 田口2工区
 L=430m W=5.5(7.0)m



凡例	
	国道
	主要地方道
	新規事業区間
	改良済区間(2車線整備済)
	未改良区間